

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	－	－	丸亀、飯山、綾歌処理区	ウォーターPPP導入検討、公 告資料作成等	丸亀市	■	■	■			92		－	
												小計						92		
											合計							92		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07	R08			
配分額 (a)	19	0			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	19	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	19	0			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 丸亀市における地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
(計画名 備讃瀬戸海域流域別下水道整備計画、下水道事業計画、丸亀市下水道長寿命化計画、第7次総量削減計画)	
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
③目標と事業内容の整合性等	
I. 目標の妥当性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
3) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 全体事業費。要素事業費の額が適切である。	○

[illegible]

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	1 丸亀市における地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり (社総金)		
計画の期間	令和7年度 ～ 令和9年度 (3年間)	交付対象	丸亀市

